

シックハウス分析

KBG-008

シックハウス症候群の原因となるホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物(VOC)など室内空気汚染物質のサンプリング及び分析を行っています。



シックハウス症候群とは住居内での室内空気汚染に由来する様々な健康障害の総称です。シックハウス症候群の原因物質として厚生労働省ではホルムアルデヒドや揮発性有機化合物(VOC)の数種に対し室内濃度指針値を設定しています。

アクティブ法又はパッシブ法による室内空気汚染物質試料の採取から定量分析までを実施しています。

化学物質名	厚生労働省室内濃度指針値($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	採取方法	
		パッシブ法	アクティブ法
総揮発性有機化合物量	400(暫定目標値)	-	○
ホルムアルデヒド	100	○	○
トルエン	260	○	○
キシレン	870	○	○
エチルベンゼン	3800	○	○
スチレン	220	○	○
パラジクロロベンゼン	240	○	○
クロルピリホス	1	-	○
	0.1(小児の場合)		
フタル酸ジ-n-ブチル	220	-	○
テトラデカン	330	-	○
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	120	-	○
ダイアジノン	0.29	-	○
アセトアルデヒド	48	○	○
フェノブカルブ	33	-	○

○がついているものが、測定可能な物質です。

Point

パッシブ法(簡易測定)

とてもシンプルな空気測定法です。吸引ポンプなどを用いずに、部屋の中に捕集材をつるして自然に化学物質を吸着させる方法です。通常24時間(8時間以上)かけて捕集します。

アクティブ法(精密測定)

定量の吸引ポンプを用いて強制的に空気を吸引し、空気中の化学物質を捕集材(サンプラー)に捕集する方法です。定量の吸引ポンプを用いることで、高精度、短時間での化学物質の捕集が可能です。